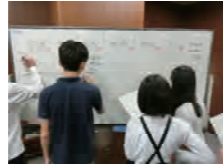


勉強会等



子供議員同士の交流を深める会や、発表する質問を作成するための事前の勉強会を3回行いました。最初は緊張したけれども、自己紹介などのゲームをするうちにすっかりうちとけて、笑顔や会話が生まれてきました。



そして、分野ごとに希望するグループに分かれ、みんなで議論しました。



講師や大学生サポーターからアドバイスをもらって質問をまとめていきました。本番に向けたリハーサルもしっかり行いました。

日時 8月10日(土)・9月1日(日)・9月29日(日)
場所 エソール広島・広島YMCA国際文化センター・広島県庁

参加した子供議員の感想

みんなで意見を一つにまとめていくのが楽しかった

本物の議場で発表することができて楽しかった

他の学校の人たちと交流して友だちも増えてとても楽しめた

本物の議員の仕事をもっと体験したくなった

周りの友達やサポーターが支えてくれたので、グループ内で積極的に自分の考えを言えた

制作・発行 広島県 広島県議会

お問い合わせ
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
広島県環境県民局県民活動課
TEL 082-513-2740
E-mail kankatsudo@pref.hiroshima.lg.jp

※子供議会の模様は、YouTubeで配信しています。

広島県議会事務局議事課
TEL 082-513-4731
E-mail gikaigiji@pref.hiroshima.lg.jp



任命式



なかもと こだま
中本議長や児玉副議長から任命書と子供議員バッジを交付されました。

日時 10月19日(土)
場所 県議会議場

議員交流会



6つのグループに分かれて、普段あまり関わることのない県議会議員に、色々な質問をしました。

日時 10月19日(土)
場所 県議会委員会室

広島県子供議会だより

令和元年度



広島県子供議会を開催しました。

これからの未来をつくる子供たちが、社会に関心を持ち、よりよい社会をつくるために何ができるかを考えるきっかけとするため、県と県議会が主催して「広島県子供議会」を開催しました。

県内の小学校5年生から中学校3年生までの44人の子供議員が、県や県議会の役割などを学んだ後、「10年後の広島県が〇〇じゃったらええのになあ」というテーマでアイデアを出し合い、活発な議論をしながら、発表する質問をまとめました。

当日は、県議会議員が実際に見守る中、みんな大きな声で堂々と質問し、湯崎知事や平川教育長などの答弁を受けました。

閉会時には、湯崎知事から、「未来の広島県のために一生懸命に考え、しっかりと自分の意見を発表

する姿を見て、大変たのもしく感じました。みなさんの意見や提案をしっかりと受けとめて、大いに参考にしたいと思います。」と、今後の子供議員に期待する言葉がかけられ、また、中本議長から、「子供議会の経験を生かし、今後もさまざまなことに興味を持って、明るい未来に向けて学んでいってください。」と、激励の言葉がかけられました。

終了後、子供議員からは、「議会で発表するのはとても緊張したけどよい経験になった。」「他の学校の人と交流できてよかった。」「みんなで質問を考えたのはとても楽しかった。」「周りの友達やサポーターが支えてくれたので、グループ内で積極的に自分の考えを言えた。」などの声がよせられ、みんな達成感にあふれた表情をしていました。

令和元年10月19日



◆平和・交通グループ

- 広島市立安佐中学校 入澤 祥太 議員
- 広島市立亀山中学校 岩政 奏翔 議員
- 安芸太田町立加計小学校 川野 倫世 議員
- 東広島市立西条小学校 貫里 倅帆 議員
- 広島市立五日市中学校 渡邊 紗英 議員
- 広島市立翠町小学校 樫山 大輝 議員

質問 平和学習に真剣(しんけん)に取り組めるよう、戦後の復興期(ふっこうき)の様子がうかがえる、お好み焼きやカーブの歴史など生活に身近なものを取り上げたり、平和記念公園をおとずれる修学旅行生に、わたしたち自身が原爆の悲惨(ひさん)さを伝えたりしてはどうでしょうか。

また、移動原爆資料館をつくり、積極的に情報発信してはどうでしょうか。今後、核兵器(かくへいき)のない平和な世界の実現に向けて、どう取り組まれるのですか。

回答 興味をもってもらうような身近なテーマを使ったり、修学旅行生と意見を交換(こうかん)する場をつくるなど平和学習の充実(じゅうじつ)に努めます。

国内・国外に向けて、原爆展(げんぼくてん)や平和に関するオンライン講座(こうざ)などを開いています。広島市とともに平和を発信する中心地としての役割(やくわり)を果たせるよう取り組みます。

国際平和を願う人にたくさん育ってほしいので、「ひろしまジュニア国際フォーラム」などを開いています。今後、みなさんにも参加してもらい、核兵器のない平和な社会の実現のために国内・国外の様々な分野で活躍(かつやく)されることを期待しています。

平和に向けた取組

交通事故を減らす取組

質問 運転者から歩行者がよく見えるようになる鋭角(えいかく)横断歩道を導入してはどうでしょうか。

また、信号機のない横断歩道での一時停止を習慣づけるため、車と歩行者の間でコミュニケーションをとる「思いやりの運動」をやってみてはどうでしょうか。

回答 鋭角横断歩道の効果などを調査・研究していきたいと思います。

なお、広島県では事故防止のため、歩行者と車を分けてコントロールする「歩車分離式(ほしゃぶんりしき)信号機」を122か所設置しています。

また、コミュニケーションをとることをふくめ、広報啓発(こうほうけいはつ)や取りまりにより、車が横断歩道で一時停止することが習慣づきよう取り組んでいきます。



◆自然・環境グループ

- 広島市立川内小学校 三木 咲愛 議員
- 近畿大学附属広島中学校東広島校 好本 茉央 議員
- 世羅町立世羅小学校 野間 彩花 議員
- 三原市立久井小学校 梶谷 俐子 議員
- 広島市立観音中学校 沖野 愛子 議員
- 広島市立白木中学校 西川 優輝 議員
- 東広島市立高屋中学校 原 莞太 議員
- 広島市立観音中学校 河原 綾希 議員

質問 広島には原爆ドームや宮島などの様々な名所がありますが、広島のようなところが好きですか。

広島で議員をする上で、どのような思いをもつてのぞんでいますか。

回答 都市部から中山間地域(ちゅうざんかんちいき)までいろいろな地域があるところが好きなところであり、みりよくであると思えます。

議員として、住民とコミュニケーションをとり、いろいろな情報やこまりごとを聞くこと、そして地域の要望にこたえていくことがとても大切だと思います。

県と議論(ぎろん)をしながら、ほかの県にほこれる広島県を目指して取り組みます。

議員の広島への思い

質問 来年3月の「第37回全国都市緑化ひろしまフェア ひろしま はなのわ 2020」が終わったあとも、街の緑を増やすためのイベントを子供たちが企画して、毎年続けてはどうでしょうか。

回答 フェア期間中に県内各地で160あまりのスポットイベントが開かれます。

このスポットイベントは、フェアが終わったあとも続けられるものが多いため、今回の提案をイベントの主権者(しゅけんしゃ)に伝えます。市町と協力して、花や緑で豊かな地域づくりの輪が広がるよう取り組んでいきます。

子供が企画する緑化イベント

質問 ペットボトルの100%有効利用のため、飲み終えたペットボトルを回収機(かいしゅうき)に入れると、買い物で使えるポイントがつく仕組みをつくってはどうでしょうか。

回答 ポイントがつくペットボトル回収機は、現在、首都圏(しゅとけん)の大手スーパーやコンビニなどで試験的に取り入れられており、ポイント削減(さくげん)効果があると考えております。

スーパーなどの業界団体に働きかけて、広島県内でも設置されるよう、市町等と協力していきます。

ポイント削減の削減



◆学校・教育グループ

- 安芸高田市立美土里小学校 増田 望夢 議員
- 広島市立中広中学校 山澤 太基 議員
- 呉市立横路小学校 バレット ファビオ 議員
- 広島市立祇園小学校 平山 喬 議員
- 広島市立中広中学校 松岡 駿 議員
- 広島市立美鈴が丘中学校 浜田 真聡 議員
- 広島市立亀山中学校 金井 優里 議員
- 廿日市市立平良小学校 津賀 匠騎 議員

質問 広島県議会として意見を一つに取りまとめないといけないとき、どのようにしているのですか。

そこで気をつけていることはありますか。

回答 多数決ではなく意見の一致(いっち)が必要となるときがあります。その場合は、ある会派(かいはい)には望ましい意見だが、ある会派には望ましくない意見で、必ずしも盛りこむ必要のないものは取り入れないなど、歩みよりを行っています。

調和のこころと、相手を理解するための正確な知識を今後も大切にしたいと思います。

意見のとりまとめ方

質問 授業を英語で行ったり、外国語指導助手ALTの生きた英語にふれる時間を増やしてはどうでしょうか。

さらに、外国人観光客が多い場所へ出向いたり、英語圏(えいごけん)の国へ修学旅行に行くなど、英語で会話する機会を作ってはどうでしょうか。

回答 文法や和訳(わやく)中心の授業から、おたがいの考えや気持ちを伝えあう授業へと見直します。このため、令和3年度から中学校の英語の授業は英語で行うことを基本としています。

英語の授業がより楽しく、積極的に英語でコミュニケーションしたいと思えるものになるよう取り組みます。

英語教育の充実

質問 早期に児童・生徒が一人に1台タブレットを持てるよう、学生価格を実現し、低価格で購入(こうにゅう)できるようにしてはどうでしょうか。

回答 現在、文部科学省がタブレットを低価格で購入できる方法を検討(けんとう)しています。

その情報を収集しながら広島県も対応を考えていきます。

一人1台のタブレット



◆防災・福祉グループ

- 福山市立城北中学校 新田 晟 議員
- 福山市立千田小学校 石井 心桜 議員
- 坂町立坂中学校 松崎 大暉 議員
- 広島市立矢野中学校 齋木 響 議員
- 広島市立矢野中学校 日野 咲里 議員
- 海田町立海田中学校 森 寛多 議員
- 広島学院中学校 濱野 尚希 議員
- 広島市立祇園中学校 竹岡 和輝 議員
- 広島市立安佐中学校 中筋 大夢 議員

質問 避難者(ひなんしゃ)の数や健康状態などの情報がわかるアプリを導入したり、学校単位で「子供消防団」を組織して被災者をサポートしてはどうでしょうか。

また、空き家を被災者の仮設住宅(かせつじゅうたく)として登録・整備してはどうでしょうか。

回答 現在、国や企業(きぎょう)等がスマホアプリやSNSを使った実験等を行っています。

今後も市町と協力してすみやかに情報を集めたり発信を行うことで、避難者が必要な支援を受けられるよう努めます。

サポート活動は、少年消防クラブや自主防災組織と学校との活動を通じて、安全に気をつけながら協力しやすくなるよう市町と取り組みます。

また、市町等とともに空き家対策(たいさく)と大規模(だいきぼ)災害時の仮設住宅のすみやかな提供(ていきょう)に取り組めます。

被災者支援の充実

質問 障害を正しく理解するための授業を小・中学校で必ず行うことにしてはどうでしょうか。

また、障害者が経済的に自立できるよう、法定雇用率(ほうていこよりりつ)を達成した企業を助成したり、様々な働き方を支援する取組に力を入れる必要があると思います。

回答 障害のある児童生徒といっしょに学習したり、日常生活で不自由さを体験したりするなど、偏見(へんけん)や無関心の解消に取り組んでいます。

障害者の雇用率を上げるため、国の支援制度を積極的に利用することを企業によびかけています。このほかにも、障害を正しく理解してもらうための活動もしています。

障害のある方々への職業訓練や仕事につくための支援等を通じて、障害者が経済的に自立できるよう取り組みます。

障害者の経済的自立への支援



◆子ども・夢グループ

- 東広島市立板城小学校 楠 向日葵 議員
- 東広島市立西条小学校 山本 友子 議員
- 広島市立祇園中学校 田中 梨桜 議員
- 広島市立白木中学校 平岡 航汰 議員
- 福山市立福山中学校 小田 啓弘 議員

質問 選挙に当選してから、自分の考えや意見の実現、広島をよりよくするための様々な提案や質問を考えるために、議員は、どのような勉強をどのくらいするのですか。

回答 県民の思いや願いを正しく知事に伝えるため、議員はあらゆる分野の勉強をすることが求められています。そのため、専門家(せんもんか)を招いた勉強会を数多く開いています。

つくえの上で学ぶだけでなく、現場に行き、自分の目で見て、耳で聞いて、はだで感じることも一つの勉強だと思っています。

議員になってからの勉強

質問 広島駅周辺に、屋内施設(おくないせつ)がある公園を整備したり、水辺のアトラクションをつくり、広島駅から川を下って海辺までのエリアを一つのテーマパークにしてはどうでしょうか。

回答 広島駅周辺に、人々が気軽に集まれるオープンスペースや子供の遊び場をつくることとしています。

現在、川や雁木(がんぎ)、河岸(ががん)緑地を利用したイベントなど、にぎわいを生み出す活動が行われています。このような水辺の空間が広島の大きなみりよくとなり、多くの人が楽しめる場所となるよう、広島市などと協力して取り組んでいきます。

子供も大人も楽しく遊べる、テーマパークのような大きな公園

質問 心を病んだり、不登校になる前に、だれにも知られずに気持ちがリセットできるよう保健室などに一人用の防音室を設置し、人工知能AIに話を聞いてもらえるようにしてはどうでしょうか。

回答 今年度、LINEによる「こころの悩(なや)み相談」を行いました。

今回の提案のような、新しい技術を利用することも参考にしながら、悩みをかかえる子供たちが気持ちをリセットできたり不登校にならないよう取り組んでいきます。

だれでも相談できる場所



◆地域振興グループ

- 海田町立海田小学校 中山 慶太 議員
- 広島女学院中学校 渡貫 湖乃 議員
- 広島市立安佐中学校 井上 和 議員
- 東広島市立西条中学校 松浦 秀直 議員
- 広島市立白木中学校 西川 綾花 議員
- 海田町立海田西小学校 上野 優理 議員
- 東広島市立西条小学校 松浦 和子 議員
- 広島市立白木中学校 岩本 夢菜 議員

質問 小学生のときから地元の企業(きぎょう)との交流の場を設けたり、都会の人がおとずれるような田舎(いなか)ツアープランを作ってはどうでしょうか。

また、過疎地域(かそちいき)で新しく事業を始める人を手厚く支援(しえん)すれば地域も活性化(かっせいか)すると思います。

回答 小・中・高・大の各段階(だんかいはん)に応じ、地元企業での職業体験活動を行っています。

地域の若者(わかもの)が中心となって都会の若者との交流や体験ツアーなどを企画(きかく)しました。現在までに約180人の若者が中山間地域(ちゅうざんかんちいき)をおとずれ、地域の新しいみりよくを紹介(しょうかい)するプランづくりに取り組んでいます。

「ひろしま創業(そうぎょう)サポートセンター」での相談対応のほか、新しく事業を始めるためのノウハウが学べるコースを開講しています。こうした取組を続けることで、笑顔で幸せにくらすことができる中山間地域の実現を目指します。

過疎地域の活性化

質問 健康寿命(けんこうじゅみょう)をのばすため、広島の食材を使った健康食を子供たちが授業で考えてメニュー化してはどうでしょうか。

また、ワーク・ライフ・バランスを進めるために、すぐれた取組をしている会社へ表彰(ひょうしょう)や助成をしてはどうでしょうか。

回答 ヘルシーメニュー提供店や減塩レシピなどを県のホームページで紹介しています。

また、「ひろしま給食100万食プロジェクト」では、食と健康をテーマに、地元の食材を使った優秀(ゆうしゅう)レシピ作品を給食に出したり、そのレシピも公開しています。今後も健康的な食生活がひろまるよう取り組みます。

働き方改革(はたらきかたかいかく)を行っている企業をYouTubeや就職(しゅうしょく)説明会で紹介するほか、男性社員が育児休業を取った企業等へ奨励金(しょうれいきん)を支給しています。広島県内でワーク・ライフ・バランスが進むよう取り組んでいきます。

健康でいきいきとした広島県づくり